

P29

社会保険委員会企画

平成30年度社会保険診療報酬改定に関するアンケート調査結果について

○田中克明、品川光春

公益社団法人日本小児歯科学会 社会保険委員会

【目的】平成30年度社会保険診療報酬改定が行われた。安心・安全で質の高い小児歯科医療を提供のための様々な課題について評価、考察すべく、改定に対する当会会員へアンケートを実施したのでその結果について報告する。

【対象と方法】平成30年7月11日から9月20日の2か月間に、公益社団法人日本小児歯科学会の会員4950名のうちメールアドレス登録者2865名を対象とし、メール発信を活用したWEB調査にてアンケートを実施した。質問内容は、平成30年度の保険点数改定項目と小児歯科医療に関する検討項目とした。回答の集計・分析は、回答者の匿名性に配慮してデータの管理を行った。

【結果と考察】回答数は447、回答率は15.6%であった。

1. 改定全体の評価は、肯定的55.1%、否定的8.4%、「どちらともいえない」36.5%であった。

2. 保険収入の変化は、増加29.0%、減少3.9%、「どちらともいえない」67.1%であった。

3. 「初・再診料に関する院内感染対策の施設基準」についての「届出」95.7%に対し、「かかりつけ歯科医療機能強化型診療所に関する施設基準」についての「届出」は41.1%であった。

4. 「口腔機能発達不全症に対する歯科疾患管理料小児口腔機能管理加算」の新設について肯定的60.4%、否定的9.2%、「どちらともいえない」30.2%であった。

3, 4に関しては記述回答でも多くの意見が寄せられ、その他の改定項目の回答結果も含め、当委員会の今後の活動に活かしていきたいと考える。課題として、回収率は15.6%であり、本学会会員の意見の集約とはいい難く、次回の改定時のアンケートでは、調査対象、質問の内容など、より工夫して対応していきたいと考える。